

付 録 5

第 2 次面接調査の結果

付録5 第2次面接調査の結果

第2次調査の結果について、ペイ・ユエン、タツヤ、マリム・ナワールの順で学校別（通し番号、クラス、性別、第1次調査の通し番号、氏名の順）に記載する。回答の左側の数字は、第1次調査の設問番号に準じる（下線は筆者）。また、プロフィールを四角で囲んでいる調査対象は、第3次調査においても追跡調査している対象である。

ペイ・ユエン普通学校

調査概要

日時：2002年8月22日（木）午前8時45分～10時15分

対象：第1次調査の対象者（フォーム5理系男3人、女4人 計7名）¹

場所：SMJK Pei Yuan 進路相談室

日程：2004年1月4日（月）～1月16日（金）

対象：SPM終了後のペイ・ユエン華人女子（フォーム5）

理系クラス（5Sc1・5Sc2）²5人

場所：カンパールのカフェ

①理系女子PY 5Sc1 No.24

父 トラック運転手 スタンダード6 母 主婦 前期中等教育

1. 中国語（北京語）を教えている学校なので、この中等学校を選んだ。

5. SPMの成績が優秀な10%の非マレー人が、大学予科に入ることができる。できることなら大学予科に入りたい。

8. 医者か先生になりたい。子どもに対して教えることに興味を持っているから。最近、あまり先生になりたがる若い人は多くない。大学卒業後、本人が望む職業機会を得ることができなかった場合に、仕方なく教師になる卒業生が多いけれど（自分は先生にも興味がある）。

12. 家族が購読している「中国報」か「The Star」から情報を収集することが多い。

13 - 14. 夫や父親になるために、教育は関係ない。

15 - 16. 妻や母親になるためにではなく、自分の場合は自分の興味で選ぶ。

17. テレビを見たり、料理をしたりするのだけではつまらない。一般的に、このような考え方（性別役割観）は昔の話に過ぎず、現在自分たちの世代ではこういう考え方は随分減っている。

19. 身体的には、男性が女性に勝っているのは変えることができない事実だと思う。恋愛をしている時は別だけれど、考え方の面でも、女性は夢見がち（romantic）で、男性は現実的だと思う。だから、仕事をする時など男性がリーダーシップをとるのが適切だと思う。家では、自分もしっかりとしたリーダーシップを発揮できるような夫を選びたい。でも、その他の場面では男女の差なく、力のある人が指導者になればいいと思う。

23. 医者を観察する機会があったが、性別にかかわらず働くことができるという印象を受けた。教師を選んだのは、女性の方がより他人の世話をする（sayang）能力に長けているし、より我慢強い（patient）と思うからだ。もし男性が教師になると、給料が必ずしも高くないので、家族を養うのには足りないだろう。女性の場合は、（通常半日で仕事が終わるので）家族の世話をすることができるので、女性に適していると言える。会計係あるいは会計士は、お金を取り扱うことに女性の方が適していると考えたため選んだ。例えば、家族で家計簿を預かるのは

通常女性であることから想像できる。

24. 対象者は、5人兄弟（姉・兄・対象者・妹・弟）の3番目だが、母親の愛情は兄や弟に向かうことが多い。おそらく、将来兄弟の方が両親の面倒を見ることになるからだろう。母親の態度に対して、父親が時々反論することがあるし、父親が姉妹をかわいがってくれる。

26. 華人コミュニティでは、一般的に男の子に愛情をそそぐ場合が多いように思う。特に祖父母の世代ではそれが顕著であった。

[印象：どの質問に関してもしっかりと自分の意見を持っている。男女の役割や差別に対して能力があれば克服できるという考えを持ちながら、一方で身近な家族から「女の子だから…」と活動を制限させられるという現実にも直面している。医者という「男女とも適している（と対象者が考える）」職業と教師という「女性に合う」職業とのどちらを選ぶかその過程に着目したい。(2004年1月現在、ゴペンのマトリキュレーションに在学中)]

②理系女子 PY No. 27 5Sc1 P

父 自動車販売 前期中等学校 母 主婦 前期中等学校

1. 中国語（北京語）を学ぶことができるので、現在の中高等学校を選んだ。
5. できることなら、シンガポールに留学したいと思っている。
8. 薬剤師になりたい。(女性に適した職業として選んでもいる)
11. 将来について父や母と話すことがあるが、必ず彼・彼女は知り合いの成功談を話す。
13. 自分が夫として選ぶのであれば、自分と同じように高等教育を受けた男性の方がいい。自分と同等であってほしい。
- 17 - 18. 若い世代は、力があれば家庭だけでなく外で働くことも問題にはならないので、性別役割観には全く賛成しない。
- 19 - 22. 男性か女性かということよりも、その人の能力を見る必要がある。
24. 家庭で「時々差別がある」を選んだのは、自分の弟の方に教育のみならずあらゆる活動を優遇するから。
26. 華人の老人 (orang tua) は、「女の子は、教育を受ける必要がない」と言うことが多い。

[印象：会話の途中で中国語が混じり、マレー語があまり得意ではないようだ。緊張した面持ちだった。(2004年1月現在、マトリキュレーションに在学中)]

③理系女子 PY No. 29 5Sc1 P

父 商売 前期中等教育 母 無業 スタンダード6

1. ごく家から近いところに学校があるので、この学校を選んだ。他に理由は特にない。
5. できれば、フォーム6に入った後にマラヤ大学に行きたいと思っている。
8. 薬剤師になりたい (女性に適した仕事として選ぶ)。
13. 教育レベルが高いと経済的に安定し生活が向上するので、男性も女性も高等教育を受けた方がいい。
17. 必ずしも男女役割が適しているとは限らない。もし女性にも力があれば、主婦になる必要だけではない。でも、両親は時々「女の子は本を読む必要ないよ (tak payah baca)」と言うことがある。
19. 自分の家では、既に父親がリーダーシップをとることが普通になっているので、男性を選んだ。
20. 男性の方が適しているかもしれないが、自分に機会があれば試してみたい。
- 24 - 25. ほとんどない。両親の発言も特に差別とは感じていない。
26. 華人の間では、いつも男女差別がある。両親によって、男性の方がかわいがられることが多い。多分華人文化の影響もあるだろう。また、男性の方が指導力を持っており、将来的にも指導力を持つようになることが理由であるだろう。

[印象：授業中で、早く帰りたいそうにしていたので話ができただのはごく短い間であった。家庭では差別がないとしながらも、時折対象者自身の家族の話に及ぶと、「性差別」的な状況に不満顔であった。自らの進路に関して、両親の発言に対抗し両親の発言を肯定しようとしているかどうかは不明。(2004年1月現在 フォーム6在学中)]

④理系男子 PY No. 34 5Sc1 L

父 メカニック 後期中等学校 母 理髪師 前期中等学校

1 - 8. 卒業後は仕事をする。家族の影響ではなく、自分で決めた。家族(父：メカニック、母：美容師)からは特に何も言われない。

13 - 18. 男性も女性も教育レベルが高い方がいいという意見を持ちながら、性別役割分担に関する質問には「賛成」している。その理由を尋ねると、「高等教育を受けた女性も主婦になれる」と主張。つまり、高等教育を受けた女性が主婦になるという意味で、女性が高等教育を受けることに賛成している。男性も料理をすることができるが、男性か女性かを比べるなら、女性の方が主婦になって家事をするのがうまい。

23. 男性に適した仕事として「ビジネス (peniaga)」を選んだ。その理由は、「自分自身がビジネスをしたいから」だそうだ。

[印：5Sc1に属する生徒のほとんどが進学するのに対して、卒業したら仕事をしたいというので、興味を持った。高等教育を受けた女性が必ずしも教育に見合ったキャリアを持つとは考えていないし、逆に男性が高等教育を受けることがその後の職業につながるとは考えていないようである。教育とジェンダーをマレーシアの文脈で考える際に、華人の1つの典型を示してくれていると言えよう。]

⑤理系女子 PY No. 37

父 労働者 前期中等教育 母 主婦 前期中等教育

1. 家族の意見で、中国語(マンダリン)を教える学校なのでこの学校を選んだ。

5. もし可能であれば、オーストラリアに留学したいと思っている。家族はコストがかかるのを心配している。

6. 理科の中でも科学が好きなので、理学部を選びたい。

8. 社会が要請しているので、スチュワーデスになりたい。

11. 友達と進路に関して話すことが多いのは、家族だと進路に関して命令されてしまうから。

13 - 14. 高等教育まで勉強を続ける方がより重要だと考える。

15 - 16. 女性も高等教育まで勉強を続ける方が重要だと考える。その理由は、女性も「独立」する必要があるからだ。

17. 女性も主婦だけではなく、家の外の人と交流することが大切だと思う。

18. もちろん台所で家事をするのも女性の仕事としていいと思うが、もし本人が望むなら (suka-hati) 男性も女性も外で働くことが可能だと考える。

19 - 22. 権力を持つ力 (kuasa) を持っているから、男性の方が女性よりもリーダーシップをとるのに適していると考え。でも、もし望まれるなら会社で自分がリーダーシップを持ってもいいと思う。

23. 自分自身の意見で選んだ。

26. 華人コミュニティの間では、特に上の世代 (golongan tua) が男女の差別をする傾向にある。

[印象：とても話しやすい。お兄さんは UM に在籍しているとのこと。女性が能力を家庭外で能力を発揮することにはとても積極的に意見を述べるけれども、リーダーシップに関しては男性優位に賛成である。自身の進路選択に関しては、今のところ特に性別の制約を感じてはない

ようである。(2004年1月現在 マトリキュレーション在学中)]

⑥理系男子 5Sc1 PY No.3

父 工場労働者 スタンダード6 母 主婦 スタンダード6

1. 家の近くには普通学校 (SMK Air Kuning) があるが、勉強をする設備・環境がより整っており、また先生がいいのでこの学校を選んだ。
2. 卒業後も勉強を続けたいと思うのは、職業機会が増えるからだ。
- 3-5. 将来はデザイナーになりたいと思っているので、私立カレッジに行く方がコースや科目が充実していていい。コンピューター関係にも興味がある。
11. 友人達の方が、大学や進路に関してよく知っているので、友達とよく話す。両親とはほとんど話したことがない。
- 17-18. 男女の役割観には賛成しない。なぜなら、女性も外で働いた方がより知識を得ることができていいからだ。でも、将来的には子どものためにも家事を優先した方がいいと思う。
- 21-22. 華人の中では、女性が指導力を発揮してもいいと思う。男性は時に粗雑 (粗心) なので、女性がまとめた方がいい。
23. 男性にはビジネスが向いていると思う。

[印象: とともしゃべりやすい。男性と女性の役割に対する固定的な考えはあまりないが、できれば女性は家事に専念した方がいいという本音も時にちらつかせている。]

⑦理系男子 No.5 5Sc1 L

父 トラクター運転手 スタンダード6 母 主婦 前期中等学校

5. フォーム6に進みたい。他の進路はお金がかかる。できれば、USMに行きたい。
9. 給料が高いのでエンジニアになりたいと思う。
11. 将来の進路はほとんど自分で考えており、両親や友達と話すことは少ない。
- 13-14. 高等教育を受けた方が、仕事の給料が高くなるのでいいと思う。
- 15-16. もし夫がいるなら、高等教育を受けても仕事をするのもどちらでもいいと思う。
17. 女性自身の選択であれば、家事に専念するのも仕事をするのもどちらでもいいと思う。
19. 家族は自分がリーダーとなるが、学校やコミュニティ、マレーシア社会に関しては分からない。
26. 華人の間では、老人たちが (orang tua) 差別をする場合が多い。
27. 仕事場 (jawatan) で、差別が時々ある。

[印象: 女性の役割に関しては、「どちらでもいい」と答えることが多い。これは、例えば女性が家事をするのも外で働くのも積極的に肯定するというよりは、自らに関係ない限り「どうでもいい」という考えの方が強いかもしれない。特に 19-23 の質問の所で、自分が将来持つであろう家庭に関しては、積極的に意見を述べるが、それ以外の範囲は大きすぎて考えることができない様子であった³。]

[参照 フォーム5生徒 SPM後]

⑧PY 華人女子 理系 5Sc1 2004年1月6日 17:00-39 (39) 英語

父 教師 (大学) 母 教師 (後期中等教育)

(ホームステイ先の友人が、唯一知っているフォーム5の生徒。コーカリキュラムで手伝ってもらったことがある。教師の母がとても勉強にうるさいと聞いていた。普段マレー語をほとんど話さないために、マレー語での受け答えは難しいが、英語は堪能。イポーで生まれた。自分専用の携帯を持ち、モーターバイクに乗って迎えに来てくれた。面接の場所は、友人たちが

アルバイトをしているハワナ・カフェ。新しく開発された地区にできたカフェ。ここに対象者が友人を集めてくれた。)

小学校からペイ・ユエンに通っている。両親と4人の姉妹で、3番目。PMRで全てAを取ったので、理系に進むのが自然なことだった。ペイ・ユエンでは、よい成績を修めた生徒は自然と理系に進むことになっている。学校のポリシーみたいなもの。ペナンに住んでいる友達は成績がよくても、興味が文系にあるのでそっちに移ることができた。

フォーム1からペイ・ユエンに通っているのは、勉強するための施設が整っているから、その他に、多分カンパーで唯一の北京語を主要な科目にしていることも理由の1つ。フォーム5を出た後に、できればマトリキュレーションに進みたいけれど、華人がそれを実現するためには10科目の内、少なくとも8つはAを取らないと進むことができない。フォーム6でもいいけれど、とって忙しく勉強しないといけないからあまり行きたくない。STPMも難しいし。大学では、できればバイオテクノロジーを専攻する。

将来のことはよく分からないが、両親のように教師になるのは好まない。お母さんとはよく進路について話す。お母さんと一緒にいる時間が多いからだと思う。両親とも教師だけど、父親は忙しくてあまり一緒にいる時間がない。

よい父親や夫になるために、仕事や高等教育はあまり関係ないと思う。でも自分が結婚したいと思う男性が自分より教育レベルが下だったら嫌かな。女性の場合も同じ。でも昔は華人の女性は教育を受けるのは難しかったと聞いているので、(教育レベルが低くても)仕方がなかった。男性も女性も同じ地位だと思う。両親は分からないけれど、私の姉たちも私と同じようなことを言うだろう。だから、男性と女性にそれぞれ合う職業があるとは思わない。どちらでも何でもできると思う。ただ、確かに華人の家族の中には、男性が家族の中で大事にされて家長になる傾向は強い。自分はそういうのは好まない。

マレーシアの教育システムはマレー人に有利なので、あんまりいいとは思わない。でも普段自分は華人の中にいるから、実際はあんまりそう意識したこともない。試験さえクリアすればあまり問題ないから。

25歳ぐらいになったら結婚したい。男女関係なくそれぐらいになれば十分成熟すると思うから。おもしろくて、かっこよくて、音楽の才があって、自分のことを理解してくれて…それぐらいそろえば完璧。でもまあ、おもしろいことが一番大事かな。

あんまりSPMの成績は芳しくないと思う。卒業後は、MMUかUTAR(マラッカとかKLにある)に行きたい。SPMの結果が判明した後大学に申請して、受け入れられたら多分今年の5月ぐらいには入学できると思う。

(フォーム6に通うことは時間のロスで大変だと思っている。エスニシティによる差も男女差も、成績がよければ問題ないのであまり意識したことがないようである。)

⑨PY 華人女子 5Sc2 2004年1月6日 17:40-17:59 (19分) マレー語

父 建設業(初等教育) 母 主婦(前期中等教育)

イポーの病院で生まれ、カンパーで育つ。初等学校からペイ・ユエンに通っている。4人兄弟・姉妹の一番上で、順に妹・弟・妹がいる。現在17歳。ペイ・ユエンに通い始めたのは、このあたりの学校の中で、先生が規律正しく教育をすることなど、最もいい学校だから。一番行きたいと思うのは大学のマトリキュレーション(新しく華人も10%と入ることができるようになるため)だが、そのためには、10科目中少なくとも5つはAを取らないといけないし、積極的にコーカリキュラムに取り組んでいないといけない。でも自分は、あんまり積極的でなかったかな。もし駄目ならスリ・カンパーに行くが、あんまり評判よくない。

生物が特に好きなので、大学では自然科学コースを選びたい。その後は今のところホテルマネージャーになりたい。あんまり理系と関係ないかもしれないけど。友だちと進路について時々話す。いつもふざけた話をしているのではなくて、夜になると電話で深刻に長く話す。他には、大学案内の分厚い冊子を利用する。

教育レベルが高くても、よい父親や夫になることができるとは限らないと思うから、分からない。父親を見ていて全然教育レベルは高くないけどいい父親なので、そう思う。でも女性は教

育が高い方が、たくさん知識を得ることができるのでいいと思う（自分にひきつけて考えたのかもしれない）。結婚は25歳ぐらいでしたい。男性はもっと上で結婚してもいいと思う。

理由は特にないけど、性役割観には賛成しない。家や学校、マレーシア社会のリーダーは男性だけれど、華人社会では両方リーダーになれると思う。（マレー語で答えることに集中力をなくしてきたので、あまり理由についてたくさん話さなくなった）。

男性には、弁護士や警官、軍隊などが適していて、女性にはアーティストや経理・看護師などが合っていると思う。

華人社会で時々差別があると思ったのは、家で成績がよくなくても弟の方によりお金をかける傾向があるから（家庭ではほとんどないと回答したけれど、華人コミュニティという家庭を連想する対象者がいたのは生活範囲が限られているからかもしれない）。

（マレー語でのインタビューを華人とするのは難しい。お互い限られた語彙を使って会話をしないといけなからだ。彼女の場合も、集中力が途中で切れてしまって、回答の背景をたずねることが途中で難しくなった。あまり受けてきた教育が高くない両親のもと、できれば高等教育を受けているんな知識を得ることが大事だと考えている。家庭で弟と自分に対する両親の接し方の違いには戸惑いを覚えているが、華人社会ではよくあることだと考えている。）

⑩PY 華人女子 理系 2004年1月6日 18:00-18:29 (29) マレー語

父 販売（前期中等教育） 母 主婦（前期中等教育）

（元気で明るい感じの女の子。話の中心で人を笑わせているし、周りからも好かれているようだ。最初に、自分の両親の教育について知らず、携帯電話（やはりノキア）で母親に聞いていた）ペイ・ユエンには校長先生だった叔父の勧めで行くことになった。この後は進学したいと思うけれど、SPMの結果次第でどうなるか分からない。近くにあるスリ・カンパーは先生があまり熱心でなく評判がよくないから行きたくない。イポーのアンダーソンに行きたいと思っていて、そこで友だちと部屋を一緒に借りることに決めている。

すごく興味があるので、大学では考古学（archaeology）を専攻できたらいいと思っている。でもあんまりどうしたいかははっきりしていない。将来は成功者になりたい。ただ、外国でとかマレーシアでとかで有名になりたいわけではなく、自分自身で満足できる程度に成功したいと思っている。

なぜだか分からないけど自分にはいろんなところ（たとえばMMUなど）に友だちがいるので、その友だちたちに進路のことはよく相談する（調査時に一緒にいる友だち以外により中のいい友だちがいる）。すぐに知らない人にも声をかけて友だちになってしまうからだと思う。

男子であろうと女子であろうと、頭がよくても心理的に、性格的にあんまりよくない人はいるので、よい父親や母親になるために教育も、そしておそらく仕事も関係ない。女性の役割分担にも賛成しない。男子にだって、台所に立つことが好きな人がいるかもしれない（笑）。自分は30歳ぐらいで結婚したいと思う。

今言ってきたことと同じで、リーダーになるのも性別は関係ないし、男子だからといって何か義務があるわけではない。たとえば、女性が弁護士に向いていると思ったのは、女性の方がより独立心が強いと思ったから、その他医者や警察にも女性は向いていると思った。なぜ警察かと言うと、最近政府が選ぶ17歳で奉仕をする制度のメンバーに友だちの中で唯一選ばれたからだ。とてもラッキーだと思う（顔は笑っていない）。

家庭で男女差別はほとんどないけれど、時々自分の弟の方を親が大事にすることがある。華人は男性を大事にするから。弟が学校でトップ5の成績を修めた時も喜んでた。

（華人にとっては、SPMの後もう一度進路を決めるチャンスがある、というよりはフォーム6に進んでもう一回STPMに向けてがんばらないといけな。MMUの名称が対象者から聞かれた。おそらくUTARと並んで華人の間で最も人気の大学のひとつである。男女は同じであると考えているけれども、実際は家庭で自分よりも弟の方を大事にしているような気がするが多い）。

学校がある日の一日は次のようなスケジュールである。

6:30に起床し、7:00から1:00まで学校に行く。放課後になると、図書館に行ったり、テ

ューションセンターに行ったりする。7時ぐらいに家に帰って夕飯を食べ、宿題をしたりテレビを見たりする。12:00ぐらいにはもう一度勉強を始め、夜中の3時ぐらいに寝る。

⑪PY 華人女子 5Sc1 18:30-18:52(22) 英語

父 教師 (後期中等教育) 母 教師 (後期中等教育)

(日本のドラマをたくさん見ていて、友人たちよりも日本語に詳しい。最初に、日本式のお辞儀をして迎えてくれた。これまで訪れたどの学校でも華人の女の子が見せた反応と同じ。しかし 2002 年頃から、日本のドラマよりも韓国のドラマが多く放映されるようになり、日本のドラマへの関心は下火になったように筆者は感じる。本日の 4 人目の対象者。4 人目ぐらいが一番疲れて、頭の回転が鈍くなる。)

カンパールで生まれてずっとここに住んでいる。2 人の姉妹と 1 人の兄がいる。休み中は (インタビューをした) カフェでアルバイトをしている。2 ヶ月ぐらい働く。残業がなければだいたい週に 6 日働いて月に 450 リンギットをアルバイト代としてもらう。

両親ともに教師で、母親はペイ・ユエンの初等学校の教員をしている。それで自然とペイ・ユエンに行くことになった。父親も初等学校の教師。卒業後は公立大学に進みたいけれど、大学には直接行くことができないのでフォーム 6 に行くと思う。でも、フォーム 6 は難しい (他の対象者とも同じことを言う)。できたらマラヤ大学か理科大学に行きたいけれど、行きたい大学に選んでもらえるかどうかにかかっている。私立は高いから行きにくいと思う。

薬学か経済に興味がある。理系だけど理科があんまりできないので、経済学もいかなと思っている。理系を選んだのは両親がいいと言ったから。職業機会も理系の方が広がるからと言われた。将来は何かビジネスに関わりたい。たとえば、銀行や金融関係の会社がいい。お金があることはとっても大事だから。(思わずお金だけですか? と恠意的な質問をしてしまうと「お金と家族と友人が大切」と言い直した。) ずっとイスに座っているような事務仕事はあんまり好きではない。

あんまり誰かに進路について相談することはないけれど、相談するとすれば父や母に相談する。何か進路を選ぶ際に有益な情報を両親が提供してくれると言うよりは、自分の意見を聞いてもらうような感じ。たとえば、フォーム 6 でイポーに行きたいと言ったけど、あんまり好まなかった。テレビ番組でも将来像を描くことがある。でもそれはある職業がかっこいいとかその程度の子どものっぽい意味で、テレビからも影響を受けることがある。

確かに夫に高い教育は大事だけれど、その人のふるまいがより重要。もし、一人は大学に行ってもあんまりやさしくなく、一人は大学に行っていないけどやさしいという 2 人がいるとして、どちらを選ぶかと考えたら、後者の方がいいに決まっている。女の人も同じ。自分は結婚を 30 歳ぐらいでしたいと思う。

性役割観も女性にもいろんな適正があるのだから、家事ばかりに適正 (qualification) があるとは限らない。男女あんまり関係ない。こういう考え方は古い考え方だ。テレビでこういう考え方に焦点を当てた番組を見た時に、いやだなと思った。両親もそういう古い考え方を押し付けたりしない。だって教師だから。

リーダーになれる適性も男女ともに持ち合わせていると思う。ただ弁護士に女性が適していると書いたのは、女性弁護士の映画を見てかっこいいと思ったから。性差別はどの場所でも特にないと思うけれど、マレーシア社会では分からない。

(友だちになりたいと言われる。)

⑫PY 理系 華人女子 5Sc2→アカウント 18:53-19:24 (31) 英語

父 商店経営 前期中等教育 母 商店経営 前期中等教育

(アカウントコースに進みたいと考えている友人はいないかどうか、Yam さんに聞いたところすぐさま呼んでくれたのが彼女。ホームステイ先の友人もよく買い物をするお店の娘さん。長い髪と香水が印象的。)

どうしてペイ・ユエンに行くことになったかはあんまり知らないけれど、家族がそうさせた。

卒業後どうしたいかはまだ分からない。おじさんがフォーム6は大変だと言っていたのでできれば行きたくない。私立大学に行くのもいいかもしれない。理系に進んだのは理系に友だちが多いから。

兄弟は自分を含めて2人。弟がいる。金融関係に勤めたいと思う。親は店を経営しているけれど、店を継げとは言わず親の仕事よりももっと上の仕事に就くように言う（こういう意見はマレー人女子からも聞いた）。

よく進路について話す。その相手は両親と友だち、おじさん。考えをシェアしていろいろと意見を聞きたいと思う（突然「あなたはどこに行ったらいいと思う？」と質問された。50人近くインタビューをしてきて、対象者の進路について意見を求められたのは初めてで少々面食らう。いろいろはぐらかして、結局何も答えなかったけれど、心の中に浮かんだのは、「華人がマトリキュレーションに進むのは難しいから、フォーム6か私立大学・カレッジに行くことになるよね」という提案にもならない、ステレオ・タイプな現実の説明のみだった。彼女は、そういうことではなくて、もっといろいろ考えを聞いてみたかったようだ。同じ質問を日本の高校生に聞かれたら、したり顔で答えることができただろうに。どうして答えることができなかったのだろうか）。

（性役割観と家族について）男子の方はあんまり分からないけれど、勉強することが卒業後働くよりも大事だと思う。女子の方は（自分のことに置き換えて考えることができるようで）、勉強がとても大事。昔、女子は勉強しなくても大丈夫だったけれど、今の女性はそれではだめで、勉強することが大事だと思う。家事をするかどうかということに男女は関係ないと思うから、性役割観には全く賛成しない。男女は関係ないから、どちらがリーダーに適しているかを選ぶことはできない。職業も同様（よって非記入）。学校と華人社会で時々差別があると思う。学校では、規律を守らせることを女子にうるさく言う先生がいて、家族の中では男性の立場の方が強く、女の子は家にいるように言われるからだ。結婚の年齢は、その時の仕事によるかな⁴。

タッサ宗教学校⁵

調査概要

日時と対象：

2002年8月23日（金）午後9:00-11:00（第5学年理系クラス、以下5Sains8人）

2002年8月24日（土）午前8:30-12:00、午後2:00-5:00

（第5学年会計学クラス、以下5Akauntan6人）

2002年8月25日（日）午前11時（第5学年宗教クラス、以下5Agama8人）

合計 マレー人女子 22人

場所：Sekolah Taayah 会議室（理系）、寮長室（会計と宗教）等

①Ta No.1 5Sc P マレー女子 マレー語 21:30-21:55 (25分)

父 Pembantu tadbir 後期中等学校 母 Pembantu tadbir 後期中等学校

試験の成績がよかったことと、家から学校が近かったことがこの学校を選んだ理由。

5. 卒業後は予科課程に入った後にUSMかUMに行きたい。

6-9. 質問紙では「科学」を専攻したいと選んだ。自分の興味から選んだ。父母は特に気にしていない。将来は医者になりたいと思っているので、医学や数学にも興味を持っている。学校の先生になるのは難しいと思う。なぜなら女性は優しい（ソフト）なので。

11. 私は長子。

12. 進路に関する情報はDewasiswaなどの雑誌から得ることが多い。テレビも参考にする。

13. 男子は、将来「家庭の長 (ketua keluarga)」になるので高等教育を受ける必要がある。その上で仕事を求める必要がある。

16. 女子は子供を育てるのが仕事なので、特に仕事をする必要はないと思う。

17-18. 高等教育を受けた女性も仕事をやめて台所にはいるのがいい。女性が仕事をするのは子どもにとってそんなにいいことではないから。

23. 産婦人科医など、女性が医者になるのは適している。自分にも合うと思っているから。エンジニアを女性にふさわしいと挙げたのは、親戚にいるから。先生も合う。

26-27. あまりにもたくさん人がいるので、コミュニティや社会のことにに関してはわからない。

[印象：広い視野から意見を出すというよりは、自分の身の回りにある例から意見を作りだしているようだ。]

②Ta No.6 5Sc P マレー女子 マレー語 21:57-22:21 (24分)

父 教師 大学学位 母 主婦 後期中等学校

1. 自分の興味からこの学校を選んだ。父はこの学校が宗教学校だから、姉がフォーム4にいたから私にも勧めた。共学の学校には行ったことがない。全寮制なのがあまり好きではない。

5. ほとんどの人が行くので大学予科 (KPM) に行きたい。

6-9 医学部に行って、産婦人科医になりたい。遺伝子工学にも興味がある。姉が会計学、兄がコンピュータを専攻しているのも影響を受ける（特権的な学科という意味で、それに負けないような学部を選びたい様子）。家族に医者がないので、私になると家族に喜ばれる。

13-16 男子が高等教育を受けると地位の高い職業に就くことができ、家族に好影響を与えると思う。だから男子が高等教育を受けることはとても賛成。

17-18 昔は女性にとって教育は重要ではなかったが、今は重要だと思う。だから、高等教育を受けた女性が台所にといいのは賛成しない。でも子どもがいたら仕事をやめるのがいい。私の母親がそうしたように、子どもの世話をするほうを好む。

19. リーダーは男子が適している。女子がするのは少しこわいし、自分だったらリーダーには

なりたくない。

23. 国家元首や医者、ウラマ (Ulama:Penasihat Agama) は男性に適した職業だと思う。医者やイスラームの宗教関連の職業は、実際男性が多いから。もちろん、男性に診察されると女性が恥ずかしがるので産婦人科の医者など女性もなることができる余地もある。

24-27. 学校では校長先生が女性だが、時々男女差別がある。コミュニティでは、様々な活動で男女と一緒に (campur) にしないので差別を感じる事が時々ある。社会では、強姦 (rogol) 事件がよくあるので差別があるのだと思う。

[印象：家族の影響からか特権的で高い地位の学部に行くことを望んでいるように、高い高等教育アスピレーションを持っている。結婚した後は自分の母親のように子どものために育児や家事に従事することを希望している。]

③Ta No. 15 5ScP マレー女子 マレー語 21:55-22:23 (28分)

1. タッヤの先生に知り合いがいるから、この学校を選んだ。

5. 公立大学のマトリキュレーションに進学したい。ジョホール・バルにある UITM に進みたい。

6. コンピューターや IT 関連を専攻したい。本当は会計学クラスを希望していたが、PMR の成績がよかったので、今の理系クラスに入ることになった。会計学のクラスと違って、応用科学と数学がある。

11. 進路については、主に友達に相談をする。親は遠いのであまり相談をしない。

13-14. 男子は、高等教育に進学をするより仕事が多いので、高等教育を受けるのがとても賛成。

15-16. 女子の場合も高等教育に進学することは賛成。金銭的にしょうがない場合は働いた方がいいが、女性が働くのはあまり賛成しない。

17-18. 男女役割は賛成しない。でも高学歴の女性が主婦になることは賛成。仕事をやめる必要はないけれど。

19-22. 宗教的に男性は女性よりも上 (atas) だから、どこでもリーダーシップをとるのは男性だと思う。

23. 女性が医者にふさわしいとしたのは、自分の希望による。女性はソフトなところがあるのでふさわしいと思う。男子が会計士に向いているというのは、緊張状態の仕事 (tension: 俗語的に若い世代が使う) をするのが得意だからだ。

25. 学校で差別があると思ったのは、イズリンの男子生徒が廊下を歩くときなどに男子生徒を優先させるから。

27. 社会で差別があると思ったのは、新聞などの情報による。政治の世界で差別があるように書かれている。

④Ta No. 21 5Sains マレー女子 23:02-23:22 (20分)

父教師・後期中等、母看護師・後期中等

1. この学校を選んだのは、UPSR で 3A2B をとったから。両親が、宗教教育がしっかりしているからと勧めた。お姉さんは入ることができなかった。

5. 公立大学のマトリキュレーションに入りたい。できれば、UTM を希望している。

7. コンピューターや IT 関連の学科を希望している。自分で興味があるので、一人で勉強している。

13-14. 男子が高等教育を受けるのは賛成。IT などの仕事は高等教育が必要だからだ。

15-16. 女性が高等教育を受けることも賛成。でも、仕事をするのがもっと賛成。自分で仕事 (kerja sendiri) が必要だと思う。

17-18. 私の責任 (tanggungjawab) は、仕事にある。家族の世話をするのは女性の幸せであるけれども、女性が家事をしなければいけないということはない。

21. 学校やコミュニティにおけるリーダーシップは、責任感があるかどうかで性別は関係がない。

23. 現実を見たときに、エンジニアや医者、建築士は男性、教師、医者、看護師は女性が多いので、それぞれふさわしいとした。男性は粗雑 (kasar) などところがあるので看護師には適さないと思う。

24-27. 学校以外は情報があまりないので、性差別があるかどうかは分からない。

⑤Ta No. 25 5Sc 23:22-23:48 (26分) 生徒会長

父建設会社経営、ディプロマ 母行政補助 (pembantu tadbir rendah)

1. 独立記念日の行事でこの学校が活発だった。両親が薦めた。試験の成績があまりよくなかったから。(彼女以外にも、タッサが必ずしも第一希望ではない生徒が多い)

5. 海外に留学したい。オックスフォードがいい。冬があるのが憧れる。ペラ以外の経験 (pengalaman) を積みたい。兄や姉の影響もある。

8. 大学の講師や弁護士にも興味があるけれど、家族が医者になればいいと言うので今はそれを希望している。兄はビジネスや宗教関係など、医者が親戚にいないのでそれがいいと言われる。

11. 父や学校の先生の薦めで理系にクラスに入った。その後の職業機会が増えるからだ。

医者になると給料が多いのいい。

13-14. 結婚した後、男子は家庭の長 (ketua keluarga) になるので、知識 (ilmu) がいる。だから高等教育を受けた方がいい。女の方が高等教育を受けるのもいいが、あまり夫と学歴や地位 (taraf) が違いすぎると恥ずかしい。(理由を尋ねると) 宗教の教えによる。

17. 女性が外で働くのは問題ない。協力して (persatuan) 家事をするのいい。

23. 弁護士は男女関係なくできると思うが、女性には医者や教師や看護師が合う。男性の方が勇敢で、女性が感情的だから。

25. 学校内ではいつも男女差別がある。特に食べ物を食べる時に。

[印象：家族の理解と薦めがあって、理系に進み、その後医者になりたいと思っている。優秀な女性で生徒会長に指名され、先生からの信頼も厚い。彼女のように、優秀な女性を理系（その後医者）にしようとする親が多い。本人たちもそのコースに誇りを持っている。]

⑥タッサ No. 45 5akaun 2002年8月24日 8:30-9:07(37分)

父教師 大学学位 (学部) 母教師 ディプロマ

1. 入学前の試験で4Aと1Bをとった。SMKA Perakは3つある。私自身の興味で選んだ。母親は特に知らないが、父親は全寮制なのがいいと薦めた。

5. マラヤ大学のマトリキュレーションに入りたい。あとはトゥイニングプログラムにも興味がある。

8. 会計士になりたい。フォーム3の時、前期中等学校の時に決めた。計算をするのが好きなことと、あまり読書をしなくていいので。

11. 母 (ibu) とよく進路について話し合う。母はお姉さんみたい。一人で考えることも多い。

父親は、宿題をし、まじめに読書をするように言う。

13-14. 男性は、家庭の長として、高等教育を受けることにとても賛成する。子どもは父親を見るから、子どもの教育にとっても大事。

15-16. 女性が高等教育を受けることにも賛成だが、あまり高学歴過ぎると、母親としての責任を果たすことができない。母親が役割を十分に果たすことができないと、いろいろと問題がおきる。主婦としての役割も仕事も、宗教では大事だと教えられている。お父さん (ayah) は、会計の教師になるといいと言っている。お母さん (mak) は、教師は休みが多いのでいいので好きみたいだ。

17. 女性が主婦にだけなるのは全く賛成しない。女性がキャリアを得るのはよい。

18. 「高学歴の女性が最後には台所に」という言い伝えみたいな状況は今はない。

19-22. 男子がふさわしい職業は医師、警官、Juruukur/Juruulsur（華人に多い）、女子は教師、看護師、Bodysistu。女性は感情的だけれど、男子はそうでないから。

[印象：女性役割はきちんと肯定しているけれど、女性の役割は主婦だけではないと思っている。途中で、両親を呼ぶ呼び方が呼びかけ風であるのは、少しずつ打ち解けてきているからかもしれない。]

⑦ タッヤ No. 48 マレー人女子 会計学 9:12-9:29(27分)

父 地方公務員 (pegawai petempatan) 後期中等、母 行政補助 pembantu tadbir 後期中等

1. ほとんど自分一人で考えてこの学校を選んだ。

5. 大学のマトリキュレーションに入って、国際イスラーム大学 (UIA) に行きたい。イスラームを学びたい。

8. ビジネスに興味がある。

13-14. 男性が高等教育を受けることも就職することも必ずしも必要ではない。(ただ教育の方が少し重要と考えている)

17-18. 妻として知識 (ilmu) が必要であるが、仕事はやめることができるから、女性の役割を肯定する。

19-22. 性格がオープン (terbuka) な男性に比べて女は感情的だから、男性の方が指導者的な役割に適している。

23. 男性は指導者、ビジネス、建築士に、女性は医者、デザイナー、秘書に適していると考えているが、自分はビジネスに挑戦してみたいと思っている。

実際に女性に医者が多いことは知っているが、女性が医者に合うと思うのは、人に愛しき優しくする (sayang) ことに長けているから。

[印象：自分で考えている様子。役割遂行型。仕事はやめていいと思っている。]

⑧ No. 49 会計学 9:33-9:51(18)

父 退職 (pesara) 後期中等教育 母 宗教教師 後期中等教育

1. UPSR の成績で 4A1B を取ったので入った。寮があることと、姉が通っていること、宗教教育がしっかりしているために入学した。

5. マトリキュレーションに進み、マレーシア国民大学 (UKM) に行きたい。

8. 今の会計学のクラスに入ったのは、PMR の後、学校を選んだ。将来は会計士になりたい。

13. 男性が高等教育で学び続けると、(就職した際) 給料がよりよくなるから大賛成。(中等教育を卒業した後すぐに就職するのは賛成しない)。

15-16. 女性は子どもを育てなければいけないので、賢い必要がある。だから、女性が高等教育を受けることにも賛成。必ずしも女性が給料を得る必要はない。

17-18. 女性の役割に関する言説は、必ずしもそうとは言えない。

21. (学校やマレー・コミュニティで女性がリーダーにふさわしいと答えたが) マレー人の男子は、女性のグループは恥ずかしがる (メモをきちんと取れていないので不明瞭)。

イポー・メソジスト女子学校 (MGS, Ipoh) が華人の女子学校の例で、リーダーシップを取ることができる。

23. 男性は建築士、エンジニア、弁護士に、女性は先生、講師、医者に適している。男性は大変な (berat) 職業が合う。医者が女性なのは、そうだったらいいなという希望。

26. マレー・コミュニティで「いつも」差別があると答えたのは、指導者もそうだし、家族の長も男性だから。これはイスラームの教えに従うことで、男性がふさわしいと思うから賛成(質問紙では女性が指導者になるのがよりふさわしいと答えている)。

27. 差別がマレーシアにあると言ったのは、華人で差別があると思うから。

[印象：女性があまり大変な仕事を選ぶのは好ましくないと思っている。職業に対するイメージが違うので一概に差別がないとは言えない。女性役割を大いに肯定した上で職業のイメージを決めている。]

⑨ No. 54. 会計学 9:54-10:20(26)

父：警官 後期中等教育、母：主婦 後期中等教育

1. タッヤを選んだのは、「勉強の施設」が整っているから。おばや先生が薦めた。
5. マトリキュレーションに進み、マラヤ大学に行きたい。
7. 会計学を選びたいと思っているのは、その後の「職業機会」が広がるとお母さんがいつも言っているから。おばの影響もあって、先生もいい。
8. 地位が高いので会計士になりたい。
11. 母親に進路について相談することが多い。父は警察でありあまり相談しない。3人兄弟がいるけど、女の子は一人だけなので母親に相談する。
- 13-14. 子どもの勉強に影響するので、父親は高等教育を受けた方がいい。
- 15-16. もし（夫の）給料が十分であるのであれば、妻は働く必要がない。
- 17-18. 男性の経済（的な力）が十分でなければ、女性も働いた方がいいと思う。だから女性の役割観には賛成しない。
- 19-22. 学校以外は男性がリーダーに適している。宗教（agama、イスラームと言う生徒よりも宗教の意を表すアガマを用いる生徒が多い）による。
23. 男性は、エンジニア、弁護士、建築士に、女性は先生、医者、講師に適している。女性は、教え方がよく、気持ちがやさしいから。ただ女性はあるはつきりしない（sabah）ところがある。自分になりたいと思っている会計士は、どこでも仕事ができるからいい。
- 26-27. マレーの集まりでよくある（と言っていたが、diskriminasi という語を区別ぐらいの意味に解していたようである。差別の意味で説明した後）それならない、と言いなおした。

[印象：母方のおば（mak saudara）の影響が強いようである。]

⑩No. 58. 会計学 11:05-11:18 (13)

父 dendin? 後期中等教育、母無記入、初等教育

1. 試験の結果によってこの学校を選んだ。先生が教えてくれた。家族はあまり何も気にしていなかった。
5. マトリキュレーションの後、マラヤ大学に行きたい。
11. 進路について姉さんと話すことが多い。姉さんは SPM の後、大学に入ることができなかった（マトリキュレーションの意と予測）。父や母とも話す。
- 13-14. 男子が高等教育を受けるのはとても大事で、すぐに就職をするのも悪くないが賛成しない。
- 15-16. 女子が高等教育を受けるのも「賛成」。でもあまり高すぎるのは、夫を見つけるために難しい。
17. 「男がそと、女がうち」という考え方に対して賛成かどうか分からない。仕事をしていると子どもを育てるのが難しいけれど、あまり気にしない。だから賛成かな。
18. 「高学歴の女性が台所に」という考え方には、必ずしもそうではないと思うから賛成しない。自分の場合、宗教に従わなきゃだめかな（terpaksa ikut agama）。
19. 男性はイスラームで指導者として規定されている。女性はささいなことに神経質（cerewet）で、感情的だから（あまり指導者に向いていない）。
23. 正確に（teliti：神経質の意も）計算をする必要があるから、会計士が女性に向いている。その他、医者、弁護士が女性向き。男性はエンジニア、裁判官、軍人に向いている。
27. マレーシア社会で「いつも」差別があると思うのは、仕事や教育の場であるから。

[印象: あんまり気にせずいろんな選択をしている。役割は当然あると思っている(面接後)。男女の性質の違いについてことさら敏感な印象。]

⑪ No. 61. 会計学 11:20-11:35(15)

父 地方公務員(前期中等教育)、母 主婦(前期中等教育)

1. SA Kangsar も候補だった。UPSR 試験の結果で決めた。姉もこの学校にいて、楽しそうにしていたので。
5. マトリキュレーションに進んで、マレーシア・プトラ大学(UPM)に行きたい。
8. 何某専門家(pakar botani)になりたい。兄の仕事の影響。
11. 母や姉や兄、友達と進路について話す。父は黙っている。
- 13-14. 高等教育を受けると高い職業に就くことができるので、男子は高等教育を受けた方がいい。男子が就職すればいいかどうかは分からない。でも、試験の結果や経済的に十分でない場合は仕方がない。
- 15-16. 女性はイメージがいいので、高等教育を受けることに賛成。
- 17-18. 女性は、何でもしたいことができるので(役割観には賛成しない、特に高学歴の女性が・・・にはまったく賛成しない)。
- 19-22. 宗教によって、男性が指導者にふさわしいと規定されている。女性は感情的だから向いていない。
23. 男性は警官と軍人に合うと思うのは、男性はちょっと粗雑なところがあるから。女性は主婦と料理人に向いている。女性は料理がうまいから。男の人が料理をしたら恥ずかしい。教師は男女とも適していると思う。
24. 家で差別があると回答したけど、特に理由なし。
- 26-27. コミュニティや社会に関してはあまり分からない。

[印象: 将来、子どもを育て、家を守ることにに関しては特に何も考えたことがない(面接後)。]

⑫ No. 67. イスラーム研究(Pengajian Islam) 11:37-11:52(15)

父 公衆衛生補助員(Pembantu Keshihatan Awam)(後期中等教育) 母 主婦(後期中等教育)

1. この学校を選んだのはお父さんが「勉強するのにいい」と言ったから。自分は何も知らなかった。私はお父さんの意見に従っただけだ。先生たちも薦めた。
5. 卒業後は、マトリキュレーションに進みたい。ジョホールのUITMで会計学を選考したい。
8. 小さいころから数字が好きだったので、将来は会計士になりたい。(じゃあ、理系には興味なかったかとたずねると)理系は人が多いので興味ない。
11. 進路相談は、父や母とする。でも、自分の好きなようにしていいと言う。
- 13-16. 子どもを教育するのに男性は高等教育を受けることに「とても賛成」で仕事は「賛成しない」。女性が高等教育を受けるのは「賛成」で、仕事は「まったく賛成しない」のは将来自分の時間を子どものために費やさないといけないから。
17. 性別役割観に対しては、必ずしもそうとは言えない。女性は仕事もすることができる。ただ、子どもを育てることはしなければならない。
18. 最後に台所という質問は、夫も料理をすることができるので「賛成しない」。
- 19-22. リーダーは全て男性が適していると思うのは、リーダーとしての素質(sifat)が男性にあるから。(様々なことに)男性は耐えることができる。
23. 男性は強い(kuat)から、エンジニアや軍人、警官に適している。女性が会計士に適していると思うのは自分になりたいから。医者もいい。弁護士は、正義感(kebenaran)を女性が持っているから合っている。
26. コミュニティで差別が「時々ある」としたのは、職場であると考えたから。

27. マレーシア社会で「いつもある」としたのは、男性が女性をあまり好きではなく、議論はいつも男性が先にするから。

[印象：会計士になりたがっているが、できることなら理系に進学したかったのではないかと予測できる。男性の役割には従順であるが、時に男性優位な状況を差別的と感じる側面も見え隠れする。]

⑬No. 69. 5pengajian Agama II (イスラーム研究クラス)

父 退職、後期中等教育、母 裁縫職人 (tekang Jahit) 小学6年

1. 学校の先生の意見が大きい。大学に行くのにいいと言われた。イポーなのもよかった (家はマリム・ナワールにあるので、マリム・ナワール中等学校に通うことも可能)。家族の意見もあった。

5. マトリキュレーションに行くが、仕事を先にするかもしれない。

6. 本のお話が好きなので、人文学部に進みたい。

8. ラジオのDJになりたい。(少し笑ってしまった)

11. 友だちと進路について話すのが、給料が大事 (な要素になる)

12. 情報は先生から得ることが多い。

13.-14. 男性が高等教育を受けてキャリア (kerjaya) を得ることは必要だが、女性は高等教育を受けても職業はそれほど重要ではない。

17-18. 性役割観には反対。生活 (kehidupan) や、経済面 (kewangan・ekonomi) で女性も働いた方がいい。

19-22. 女性は感情的で、男性は理性がある。だから男性がリーダーになった方がいい。

23. 男性は理性的だからたとえば弁護士がむいている。女性が講師に向いているのは、あまり大変な仕事ではないから。DJも同じで仕事量が比較的少ないから (自分になりたい)。(結婚をした後どうするかと尋ねたら) 時間を減らすか仕事をやめて夫についていく。男性の方が義務が多くあると思っている。

[印象：先生の考えに従ってタツヤに入った。DJとして働きたいが、結婚後夫が仕事を辞めるように言ったらやめるのを厭わない。マリム・ナワールが家の近くにあるので、そちらに行くことが自然であると言えるが、わざわざタツヤを選んだ。おそらく大学にも進学する。しかし、その後仕事での成功願望はあまり強くない。でも DJ になるのははっきり目指したいと考えている夢である。]

⑭No. 73. 5Thanawi (宗教クラス) 時間非記録

父 教師 (大学学位) 母 教師 (ディプロマ)

1. 家族の意見、試験の結果、その後の職業機会 (の拡大) を理由に、今の学校を選んだ。

5. マトリキュレーションか、オックスフォードとか海外への留学、トゥイニングプログラムを選びたい。マトリキュレーションの後には、両親の進めもあり UIA に行く。イスラームを教えているのがいい (と両親が言っていた)。

6. いろいろ興味があるが (科学・数学・社会科学・法律を選んで)、一番社会科学に興味がある。

8. シヤリア (Syariah) の弁護士になりたい。弁護士は女性の仕事だと思っているから。

9. 弁護士になろうと思ったのは、学校のカウンセラーの意見でもある。

13-14. 男性が職業を選ぶのはとても賛成だけど、高等教育に進学するのは分からない。就職をして高い給料を得るのがいい。

15-16. 女性は、子どもを教育するために高等教育は必要だが、専業主婦になれるから仕事は必要でない。

17-18. 性役割観には「賛成しない」。でももし男性が仕事をやめると言うのならやめるが、

まずは議論をする。

19-22. (kaumを女性の集団だと思ったので) グループでだけ、女性がリーダーシップを取る
ことができるが、その他は男性の方が適している。

23. 男性は勇敢で女性はソフトだから、それぞれエンジニア、医者、建築家と弁護士、教師、
社長秘書が向いている。

26. 学校とグループで「時々差別がある」を選んだのは、男性が政治的には強いから。

[印象：宗教クラスの生徒。結婚後仕事をやめるのには賛成だが、法学に進みたいと考えてい
る。(なぜか彼女とのインタビューで、男女が別れて学ぶことは決して悪いことではないんだ
ろうと思う。)]

⑮No. 81 5Thanawi (宗教クラス) 16 : 00-16 : 20 (20)

父 警察 (PDRN) 後期中等教育 母 主婦 後期中等教育

1. 職業機会が拡大すること、大学に入りやすくなること、家から近かったこと、両親の意見、
新しい友人を見つけたかったことなどがタツヤにきた理由。

5. マトリキュレーションに進んだ後、UPA か UIA でカウンセリングを学びたい。

8. 教師かソーシャルワーカーになりたい。教師は家族が薦めている。ソーシャルワーカーの
方は老人が増えるので (大事だと自分で思った)。

13-16. 男性はよい火付け役 (bakar) で、子ども (anak yang bijan)、女性は高等教育を受
けて男性を助けるのがいい。

17-18. 性役割観には「まったく賛成しない」。

19-22. リーダーは男性が適していると考えるのは、私たちの (kami) の宗教の教えであるか
ら。女性はやさしい (lembut) (のでリーダーには適さない)。

24-27. 学校で差別が「時々ある」のはイドリス男子校の生徒と異なって扱われるから。(kaum
を仮にマレー・コミュニティと仮定すると)「ほとんどない」。マレーシア社会で「時々ある」
と答えたのは、男性の若者の間で社会問題があるから。

[印象：社会問題にとっても関心がある。しっかりとした自分の意見を持っておりそれを言語化
もしている。家では男女差を感じていない。宗教によりリーダーは男性が適していると答えた
背景をもう少し探してみたい。自分の得意なものを分かっている自分で選ぶことにも長けてい
る (pandai jaga diri)。]

⑯No. 87 5Thanawi (宗教クラス) 16 : 23~45 (22)

父 peneroka 後期中等教育 母 主婦 後期中等教育

1. 共学校はカップルになったりして問題が多いので、親が宗教学校に入れたかった。

5. マトリキュレーションの後、UIA に入りたい。

8. シャリアの弁護士か先生になりたい。しゃべるのが好きだからだ。

11. UPM に行っている姉や友だちと進路について話し合うことがある。

13-16. 男性は高等教育に進んだ方がいいと思うのは、そうすると職業も (地位の) 高いもの
になるから。女性も同様。地位 (taraf) が高くなる。夫だけが働いているのでは十分ではな
い (おそらく経済面で)。

17-18. 男女の役割分担には「賛成しない」。「女性が高等教育を受けた後は」働かなくてはな
らない。もちろんそれが義務だ。だから必ずしも「台所に入らなくてもいい」。

19-22. リーダーは男性になるのが適している。男性は現実的だが女性は違う (terbatas)。

23. 男性は講師や医者は企業家、女性はシャリアの弁護士か教師がいいのは、自分で興味か
あるから。

24-27. 時々マレーシア社会で「時々差別がある」としたのは分からない。他の場所ではない。

[印象：性役割観などのジェンダーの気づきと進路の選び方に親の影響がどれくらいあるかが気になった。]

⑰No.90 5Thanawi (宗教クラス) 21:35-21:55 (20)

父 Penyelia Felcra N/A 母 N/A 後期中等教育

1. この学校を選んだ理由は、宗教教育を受けたかったから。
5. マトリキュラシーに入りたい。マレー語と英語の成績がいいと大学にいけると思っている。
11. 友だちと話す。両親はあまり気にしない。
12. カウンセラーの先生から情報を得る。高い学歴を得ると高い職業につけると考える。
- 15-16. 女性は高等教育に進学することに「賛成」なのは、職業を選ぶことができるから。でも、仕事をすると子どもを育てることに時間を割くことが十分でなくなる。
- 17-18. 性役割観賛成するのは、子どもを育てることができるから。
- 20-22. 男性がリーダーになるのがいい。女性はやわらかいので男性についていく方がいい。男性は力が強く、他の人を率いていける。
23. 男性はエンジニアや軍隊(tentera)、宗教教師(ustaz)などが適している。女性が医者になると女性が診察に行くのは恥ずかしくなくなる。スチュワーデスや教師もいい。男性がエンジニアになるのが適しているというのは、スタミナがあり強いから。

[印象：役割を遂行に忠実である。親はあまり何も言わない。兄弟が少ないから自分で考えた進路(栄養士)を選ぶことができる。]

⑱No.91 5Thanawi 22:00-22:23(23)

父 退職(ペラ州議員) ディプロマ 母 主婦 ディプロマ

1. 宗教学校なので家族が薦めた。宗教を勉強することで学びと Akhlak を得ることができる。
5. ヨルダンやエジプト(Mesir)の大学で学びたい。宗教がよりアラブ的であるから。
- 10-11. 父と時々進路について話す。父はペラ州の議員だった。
- 13-14. 男性は高等教育を受けることも働くことも「とても賛成」。責任を持つことが宗教でも決められているから。
- 15-16. (女性は男性とは少しトーンが下がりつつも)高等教育を受けることも働くことも「賛成」する。働かないと生活水準を高く保つことができないから。男性が働くのを怠けることがあるので、それを補わなければいけない。
- 17-18. たとえば夫が他界して仕事をやめざるをえない場合、女性も働かなければならないから、性役割観には賛成しない。
- 19-22. 男性がリーダーに適していると思うのは、宗教で教えられているから。
23. カウンセラーを女性に適している職業と考えられるのは、人の気持ちを理解しやすいから。
25. 時々学校で差別があると思ったのは、(イドリスの)男子がキャンティーンを占領してしまうときがあるから。
26. マレー・コミュニティでは、昔教育に差別があった。

[印象：宗教教育を大事だと考えて将来も海外(アラブの)大学に進みたいと考えている。性役割観について肯定する発言と、状況に応じては否定する発言がある。おそらく、すでに父親が退職をしていて様々な状況を想定しているからであろう。重いものを持つ仕事などは女性がしないとも言っていた。]

⑲No.97 5Thanawi 22:25-23:00

父 Pembantu Tadbir 大学学位 母 経理 後期中等教育

1. 宗教に興味があった。家族の意見でもあり自分自身の意見でもあってこの学校を選んだ。先生も推薦した。他にクアラ・カンサーの学校なども候補としてあった。
8. シャリアの弁護士になりたい。宗教を専攻しているから興味があるのと、給料が高いのでいいと思う。
11. 友だち同士で進路について話し合う。それぞれの個性を知っている者同士で何が合う、何が合わない話す。
- 13-14. 男性には高等教育も職業も大事である。家庭の長としての役割があるからだ。子どもの模範例となるためにも。
- 15-16. 母親にも同様に高等教育は大事だ。なぜなら、母親が最も子どもたちに近い存在だから。でも働いたら子どものよい例になることができない。
- 17-18. 最近物は高くなっているので女性も働いた方がいいかもしれない。だから性役割観に対しては分からない。
- 19-22. (kaumは女性のグループつまり学校の女性のグループだと思ったので) 女性がリーダーになることができると回答した。
23. エンジニアと首相、教師が男性に適している。特に首相は大きなお金を動かすので、男性に適している。教師は男女ともいいと思う。性別が一緒の先生の方がお互いに理解しやすい。医者には女性がいいと思うのは、最近女性の医者が少ないので、子どもを生む時などいい。弁護士も女性向。
- 24-27. マレーシア社会ではいつも差別があると思う。たとえば、夫が言うことに従わなければいけない。自分の家族も家庭の仕事を忘れるまで仕事をしないで (jangan sampaikan rupakan keluarga) ほしいという。だから、会社が開いている時間 (waktu pejabat) の時間だけの仕事を選ぶことになる。自分もそれには賛成。

[印象：この日最後のインフォーマント。遅くまでしっかりと話してくれた。特に最後の、家庭の仕事を忘れるまで仕事をしないでという言葉が家族から言われて、しかも本人も賛成しているという話は興味深かった。]

②05Sains 理系クラス 8/25 9:30-9:53(23)

父 教師 (pendidik) 大学学位 母教師 大学学位

1. 5Aを取ったのでこの学校に来た。理科クラスの施設が整っているところがよかった。
3. SPMの成績がよかったら進学したい。進学すると、高い職業に就くことができるから。
5. マトリキュレーションと、海外留学(英国の大学)に興味がある。国内では、UKMかUSMの薬学に行きたい。姉を見ていて面白そうだと思った。まずはマトリキュレーションに行ってみないと分からない。
6. 薬に関して学ぶことにとっても興味がある。科学も好きだ。まだ薬に関して学ぶことができるの(所が?)少ない。
9. 薬剤師になりたいと思ったのは、試験の結果と興味と給与の面からだ。
11. 友人と進路に関して話す時に、この分野がいいあの分野がいいと話したりする。互いの個性についても話し合う。
- 13-14. 卒業後男子は高等教育機関に行くのに「とても賛成」、仕事は「賛成」。大学に行くと高い職業に就くことができる。ただ大学に行かないで仕事を頑張るのも悪くない。
- 15-16. 女子の場合も男子と同じ回答(高等教育機関に行くのに「とても賛成」、仕事は「賛成」)。家族や夫や職業的成功などとの兼ね合いによる。何が新しいか古いかという考えに基づくのではなく、単に勉強に興味がない種類の人は、働いた方がいい。家族を養わないといけない人も。
- 17-18. お年寄りが性役割観について言う。だけれど女性の義務・責任は家の外にもあると思う。女性も男性のように外で仕事することもできる。でも、子どもに何か問題が起きるほどに働いてはいけない (jangan sampaikan masalah anak-anak) とも思っている。それで、教師になるのがいいと思う。

19-22. 男性がリーダーになるのがよい。女性もリーダーになりうるけれど男子よりもソフトな性格なので、何か責任を果たす役目は男性の方が適している。

23. 商売は男性向き。エンジニアや医者、既に男性が多いので適していると思った。医者は、今は女性が少ないけれど女性にも向いていると思う。薬剤師（自分がなりたい職業）や教師も女性に合う。

24. （家庭における差別について）兄弟がスランゴールにいる。両親は兄弟をより大切に思っている（lebih utamakan）。反対に、家の仕事は女性の仕事だと思っている。自分はそれには賛成しない。

25. 学校で「いつも差別がある」としたのは、男子生徒の数は少ないにもかかわらず、より彼らを優遇するところがある（lebihkan kepada lelaki）。たとえばプログラムを男子に優先し、それに女子が従わないといけなくなる。

26. マレー・コミュニティに関しては、新聞では政治で男女差別があるというが、私は見たことがないので「ない」とした。

[印象：薬剤師になるのに、医者になるのは大変だからという理由でなりたがる人が多いけれども、彼女はそうではない。薬剤師にはじめからなりたがっている。おそらく仕事をずっと続けていくのだろう。ただし、家庭では性役割観に従うよう強く教えられている。]

21) 5Sains (理系クラス) 10:00-10:28(28)

父 講師 PhD 母 主婦 後期中等教育

1. 母や叔母など多くがタッヤに通っていたことが理由となってこの学校を選んだ。

5. マトリキュレーションで医学を勉強したい。絶対。

7-8. 小さい時から医者になるように言われていたので、医学を学んで医者になりたい。親戚には教師は多いけど医者がいないので。もし政府の奨学金を得ることができたらイングランドに行って5年間勉強したい。

11. 寮で友だちと進路について話す。母もまるでいい友達みたいに力になってくれる。

12. 進路の情報は新聞やインターネットから得る。たとえばアイルランドの医学部の情報など（彼女に限らず医学部といえばアイルランドと思っている人が多い）。

13-14. 男子が高等教育を受けるのは「とても賛成」で、就職するのは「賛成しない」。父親のことをとても尊敬している。時間をかけて勉強し、結婚後に仕事を得た父だから。道徳的な模範になるためにも高等教育を受けているとよい。父がもし駄目と言ったら、医者から薬学部にかえるのも厭わない。

15-16. 女性が高等教育を受けるのは「賛成」、仕事も「賛成」。でも最後は台所に行くのは賛成。仕事はあまり長く続けない（中間層の主婦化に近い発想?）。でも、自分の場合、55歳…40歳ぐらいに仕事はやめて、自分で何か始めたい。たとえばブティックとか…。

17-18. 女性が高学歴を得ている場合もある。家庭の余裕にもよるから、余裕があれば、台所に入るのに大賛成。社会問題は、母親が外で働くことが原因だと思っているから、働かない方がいいのかもしれない。だから性役割観には賛成。

19-20. リーダーは男性が適している。女性は感情的だから。男性がリーダーになって、女性がちょっと男性より下にいるのは賛成。

23. 女性は（特に子どもの）世話をする職業がむいているので、たとえば教師、カウンセラー、ナースリーなどとして働くのがいい。男性は、建築家、医者、議員が合う。心理的に自信があるから。建築家は建物を扱うのでちょっと粗雑なイメージがあって男性向き。

26-27. マレー・コミュニティとマレーシア社会でそれぞれ「時々差別がある」を選んだ。選挙の時に男性の候補者を選ぶ傾向があるから。政治面で差別があると考えた。

[印象：とてもはっきりとした自分の考えを持っている。家庭では高学歴の父と家柄のいい母親がいる。男女別なく様々なことに挑戦できると思っている。6人兄弟の1番上。豊かな家庭（中間層）で、マレー人の女性の主婦化が進んでいるとされているが、彼女も母親の姿を見て、

地位の高い男性と結婚して仕事をやめて主婦になることも一つの姿だと思っている。]

22) No. 36. 5Sains 理科クラス 10:30-10:53

父 校長 ディプロマ 母 教師 ディプロマ

1. PMR の成績が 5A だったから。クダ州の SAS

3. 勉強を続けたいのは家族の影響。

5. マトリキュレーションに入りたい。家族はペラにいるが、私はできれば UM に行きたい。

6. PMR の成績がとってもよかったので、理科クラスに入ることになったが、興味は文学にある。もし文系なら会計学もいい。詩や言語に興味がある。

8. 言語や歴史の研究者になりたい。そのためには PhD をとりたい。

11. 父親は忙しくてあまり進路の話ができないが、母親とはよく話す。でも母も何でもいいから好きにやりなさいと言う。

13-14. 子どもを教えたり家族を養う上で、男子に高等教育は必要。

15-16. 子どものために女性が教育を受ける必要があるので、だいたい男子と同じくらい教育を受ける必要がある。

17-18. 性役割観には賛成しない。私たち (kita) の経済のためにも、女性も仕事をしなければならない。家事は両方がすればいい。それは両親のやり方を真似ているもので、両方が料理をしなければならない。

19-22. 女子校のタッヤ以外ではリーダーシップは男性がとるべき。女性は感情的で男性はもっとよいから。

23. 男性は、家族から離れなければならないパイロットや、クリエイティブな建築家や猛々しい感じの (ganas) 石油堀 (cari gali petroleum) が合っている。女性は、教師や医者などのコミュニケーションを取ることが得意でソフトな仕事がいい。理系の研究者もある場所にじっとしているだけなので悪くない。物理・化学・生物すべての理系のことだ。

24. 家ではほとんど差別はなかった。違うことといえば、オートバイは男性が乗るもので、男女とも乗っているのは、車だと区別されたことぐらい。

27. マレーシア社会で差別があると考えたのは、たとえば男性は 4 人まで妻を持っていいなど男性の方に優先的な法律があるから。

[印象：校長先生の父と教師の母のもと、自身の興味ある分野に進み、できれば研究をするようだ。家庭でも好きなようにさせてもらっている。性役割は守るつもりである。性役割そのものには反対している。女性が働くことも大事で、家事は男女ともにするべきだと考えている⁶。]

マリム・ナワール普通学校⁷

調査概要

日時と対象：

2002年9月2日(月) 午前10時30分～12時45分 理系5Sc2

マレー人男子0人 華人男子1人 マレー人女子1人 華人女子1人

2002年9月3日(火) 午前10時50分～12時20分 文系5P1

マレー人男子1人 華人男子1人 マレー人女子1人 華人女子1人

2002年9月4日(水) 午前10時30分～12時 文系5P2

マレー人男子1人 華人男子0人 マレー人女子2人 華人女子0人

計10人(マレー人男子2人、華人男子2人、マレー人女子4人、華人女子2人)

場所：Malim Nawar 相談室

① 文系華人男子 MN No.42 5P1 L

父 農業 スタンダード6 母 主婦 スタンダード6

1. お兄さんもお姉さんもこの学校に通っていたので、とくに迷いなくこの学校を選んだ。

4. 兄や姉がカレッジや大学に通っていて、自分が勉強する経済的な余裕がないことと、勉強することにあまり興味がないし面倒くさいので仕事をすることにする。

8. 将来は店の主(tauke)になりたい。父親が従事している農業(ジャゴンの栽培)は、暑い気候が影響して続けるのが難しい。

13-14. 卒業して仕事をして、よい夫や父親になることができる。高等教育を受けることだけが条件ではない。

15-16. 女性に関しては、必ずしも教育や仕事が必要だとは思わないので「賛成しない」を選んだ。

17. 女性が外で働くのはあまり似合わない。

20. でも学校でリーダーになるのは、女子生徒のほうがいいと思う。勉強に関して女子のほうが優秀なことが多いからだ。

23. 例えば医者や男性に適した職業だ。なぜならば、事故があった時に犠牲者を病院に運ぶのに男性が適しているからだ。

26. 「dikriminasi jantina」という言葉の意味が理解できていなかった。

(背の高いやんちゃそうな男の子。インタビューをしたいと言った時に友達の前で恥ずかしいのか少し渋っていた。周りの友達がそうであるように、勉強することにあまり興味がない。男の子はあまり勉強に興味がないという通説の典型例と言える。(Taayahでは、女子はじっと座って勉強していることに適している言う生徒が多かった。逆に進学可能な成績の男子生徒が進学をしないで働きたいと思うのはなぜか考える)。

② 理系マレー人女子 MN No.8 5Sc2 P

父 公務員 スタンダード6 母 主婦 非教育

(10)父親の仕事は公務員(kerajaan rendah awam)で母親は教育を受けていない。

1. 中等学校を選ぶ際にSeri Kamparの宗教コースも候補にあったが、コストがかかるので行くことができなかった。父親の意見による。

2. 6人兄弟の一番上で、下の兄弟姉妹の面倒を見る必要がある。父親も「自分で稼いだお金は自分で使っていい(guna duit sendiri)」と言っているので働くことにする。もちろん勉強を続けることには興味があるが、今は経済的な状況から仕方がない。

8. 会計担当になりたい。” akauntan”という言葉が小さい頃から好きだった、それが大きな理由。もちろん高い地位であることも理由。

- 10 - 11. ほとんど人と進路について話すことはないが、時々母親と話すことがある。議論をするというよりは、自分でどうしたいかを述べた後、母親が意見を少し言う程度。
- 13 - 14. 高等教育を受けなくても職業的地位が高ければ、よい夫や父親として十分に務まると思うので、仕事の方をより重要だと思う。
- 15 - 16. 夫の仕事の悩みに役立つような知識を持つために高等教育は必要。また、経済的に夫を助けるために仕事をするのも必要である。
17. 女性が家事だけをするのは必ずしも必要ではない。
18. でも、家事をするのは女性にとって重要なこと。ただし必ずしも仕事をやめる必要はない。
- 19 - 22. 女性は決断をするのがあまり得意ではないし、考えることが男性よりもうまくないので男性が指導者になった方がいいと思う。
23. 弁護士は決断する勇氣、ビジネスはより多くの時間が必要なので男性に適している。一方、女性はあまり難しくない職業である講師や、やさしく患者を労わる必要がある医者に向く。(自分が希望する) 会計の仕事は簡単な仕事なので男女とも向く。
27. マスメディアによって差別があると伝えられるが、実際に差別だと感じるような事象を見たことがないのでよく分からない。
- (学級委員に選ばれるに適したしっかりとした意見を持っている、とても話しやすい生徒である。おそらく成績もいいのだろう。女の子だからと言うよりは、家族を養うためあるいは家族に経済的な負担をかけないために働く予定である。

【MN No. 8 5Sc2 P N 家庭訪問】

9月4日(水) 14:30に家を訪れる(～15:30)。家は、PPRT(Projek Perumahan Rakyat Termiskin)という最貧困層の家庭に対して住宅を提供する地区の近くにある。訪問時、祖父(居間に寝ている)、父親・母親と兄弟、従妹が家にいる。父親は魚を釣って、生計を立てる。母親は専業主婦で、結婚後特に働いた経験はない。家には、テレビ・VCD プレイヤーなど電化製品が一通り揃っている。一続きの居間の奥に台所があり、従妹が料理をふるまってくれた。居間に続いて部屋が2つあるが、掃除をしたものをこの部屋に全て片付けたのかこの2つの部屋(子ども部屋と寝室)は見ることができない。

家庭訪問に先立つ本人の話では、勉強を続けるのは難しいとのこと。しかし母親によると、「すごく成績がよければ勉強を続けるチャンスはある、続けることができないのは本人のせい」と言った。これは、マレー人は相当程度の努力をすれば奨学金を得て高等教育を受けることができ「家が貧しいから」というのは必ずしも理由にならない。「勉強はとても大事。勉強しないと仕事を得ることができない」(母親は公教育を受けていないので、これまで仕事を得るのが難しかったようだ) また、「学問をするのに男女関係ない」「もし成績がいいのなら大学に行ってもいい」とも言っていた。

筆者の印象としては、両親ともに高等教育を受けることには反対していない。彼女の成績如何で結果が出るのだろうが、彼女自身も高等教育を受けるために必死で勉強しようとは思っていないようだ。通常深夜の12:30ぐらいまで勉強をするという本人の談だが、「勉強をしているかどうかは分からない」(母親)。できることなら会計士になりたいと言っていたが、実現するのはなかなか難しいだろう。

教育を受けることに性別は関係ないと言うのは、両親の本音だと思う。特に母親は自身が公教育を受けてこなかったもので、教育がどれほど重要か身にしみているようである。

③ 理系華人女子 MN No. 12 5Sc2 P

父 家の修理工 前期中等教育 母 主婦 スタンダード6

1. 家から学校までの距離がとても近いことがこの学校に通っている理由だ。もちろん、他の選択肢もあったが、校区外の学校に行くには交通費がかかるのであきらめた。
2. やはり経済的な理由から高等教育に行くつもりはない。もちろん興味はある。
8. 人の世話をすることができる看護師になりたい。

11. 母親に進路について相談することがある。看護師になりたいと言うと、難しいから無理だと言われた。友達には看護師になりたいと言ったことはない。
13. 男性が高等教育を受けることは賛成。知識 (Ilmu) を持つとあらゆる問題を解決しやすくなるからだ。
14. 高等教育を受けないと、仕事でも何でもあまりたくさん選択肢がなくなってしまう。
15. 女性の場合も高等教育を受けることは賛成だが、男性ほど高い教育でなくてもよい。男性は生来エゴが強いので、女性は必ずしも高等教育を受ける必要もない。
16. 高等教育を受けないと、職業の選択肢は例えばウェイトレスなど限られてしまうのであまり賛成はしない。
17. 女性も金銭的により豊かになるために外で働いた方がいい。
18. せっかく高い知識を得ても、主婦になってしまうと機会が広がらない。
- 19 - 20. 問題を解決する能力が男性の方が長けている。
22. でも華人の男性はあまりじっくりと物事を考えないので、リーダーになるのは女性の方がいいかもしれない。
23. 医者が男性で看護師が女性という組み合わせが好き。先生はたくさん休みがあるし難しくない職業だから女性に向いている。
- (看護師になりたいという明確な夢を持ちながらどうすれば看護師になれるかをあまり調べていない。でもとてもユニークな発言をする生徒だ。自らはおそらく就職をするが、高等教育が職業機会を広めること経済的に豊かになることなどあらゆる面で重要であると感じている。チューションで忙しく (進学しないの?) 家庭訪問はしてほしくないそうだ。)

④ 理系華人男子 MN No. 20 5Sc2 P

父 労働者 スタンダード6 母 主婦 スタンダード6

1. 他にも選択肢はあったが、家から遠いのと私立でコストがかかるのであきらめた。
2. SPM の成績があまりよくなかったら、私立カレッジに行き、よければ大学のマトリキュレーションに入りたい。
6. 試験の成績によってコースは決まる。本当は美術関係 (絵を描くこと) に進みたいが職業機会が少ないので会計か経済を選ぶ。
8. チューションの先生がアカウンタントになるといいと薦めてくれるが、まだ何になりたいかは分からない。
- 13 - 14. 高等教育を受けた方がふるまい (tingkat laku) がよくなる。
- 15 - 16. 女性にとっては、どちらも絶対的に重要と言うわけではないので、どちらでもいい。
17. 女性が働くことも必要。私の父親は料理もするが男性女性にかかわらず家事をすることができる。
18. 必ずしも結婚をしなければいけないとは限らない。私は自分以外の人間は信用しない。
19. 家庭の中では子どもを教育するのが上手な女性が指導力を発揮する方がいいと思う。
- 20 - 22 その他男性は欲求が高く多いので男性が指導者になった方がいい。
23. ビジネスも先生も現在実際にそれぞれ男性、女性が多いので適していると思う。先生は生徒の世話をするのが女性の方がうまいので女性に適していると思う。
24. 家庭で差別があると感じるのは、母親が弟 (2人兄弟) をよりかわいがるから。
- (彼女もしっかりとした自分の意見を持っているようだ。珍しく家で父親が料理をする家庭に育った。兄弟が2人しかいないので男女関係なく自分の好きな進路を選択できるが、実際は他の華人の家庭同様男性 (弟) をかわいがる傾向が強いようだ。父親の仕事は決まっているものではなく、あまりマレー語はうまくない。必死で勉強している感じ。)

⑤ 文系マレー人男子 MN No. 36 5P1 (2002年9月3日)

父 退職 (バス運転手) 後期中等教育 母 主婦 後期中等教育

父親の職業はバスの運転手、母親は以前工場で働いていたが現在は専業主婦。

1. 職業学校に行きたかったが成績が不十分で行くことができなかった。
9. 試験の成績によるが、できればエンジニアになりたい。興味がある。
11. 将来の進路についてよく話すのは母親。父親とはあまり話さない。特に理由はない。母親が言うことにとりあえず従う。
- 13 - 14. 子どもを教育するためにも働く前に高等教育を受けた方がいい。
- 15 - 16. フォーム 5 かフォーム 6 の後にすぐ働くことには賛成しないが、女性が高等教育を受けることはいいかどうか分からない。大事なのは夫を助けること。
17. 女性が主婦として家の仕事に従事するのはとても賛成。専業主婦でいた方が、家事をするのに時間を取ることができる。
19. 男性の方があらゆることに長けている (kelebihan) ので、男性が指導者となる方がいい。ただし、マレー人の中では女性が優秀なことがあるのでどちらが指導者になればいいか分からない。
23. 男性に向いている職業として経営者がある。会社を動かすのに男性が向いているからだ。既に多くの女性が教師になっているのでおそらく女性に適しているのだだろう。看護師は特に理由はない。
- (私がとてもインタビューをしにくかったのも、彼の方もインタビューされにくかっただろう。進路については母親とよく話すとのこと。各選択肢を選んだ理由を尋ねても、特に理由がないことが多い。自分自身が勉強を続ける理由は将来的に楽になるからと考えている。女性が教育を受けることに関してはあまり興味がないようだ。性役割観を強く守った発言をする。自転車で 5 分ぐらいのところに住んでいる。) ⁸

⑥ 文系マレー人女子 MN No. 54 5P1

父 公務員 前期中等教育 母 主婦 非教育

- (10) 父親は学校の用務員。
- (12) 母親は庭の清掃員。
1. この学校を選んだのは、父親が用務員をしていることが大きい。家から近いこと、兄もこの学校に通っていた。
2. 卒業後も勉強を続けたいと思うのは、将来教師になりたいからだ。親戚にも教師は多く、性格的にも教師は合っていると思う。
5. フォーム 6 に進み大学に入ってから教師になることも考えられるが、そうすると長い期間待たなければならない。大学に入ることができるのかもはっきりしない。だから卒業後は教員養成学校に入りたい。確かに大卒の教師の方が給料はいいが、長い期間待つ (つまり費用がかかる) ことよりは、教員養成学校に入った方がいいと思う。
11. 両親は進路に関して教師になることもいいが、例えば工場で働くのもいいと思っている。大変な努力が必要で費用がかかるような職業には就いて欲しくないと思っている。
- 13 - 14. 家の主 (ketua rumah) として、物事の価値判断が的確である必要があるのも、男性が高等教育を受けることは必要である。
- 15 - 16. もし高等教育を受けないと職業機会が狭まってしまい、あまりいい職業に就くことができないと思う。
17. 夫がお金持ちであれば、主婦になることも可能なので「賛成する」を選んだ。
18. 女性が台所で働かなければならないのは昔 (zaman dulu) の話で、今は変化している。教育レベルが高いのに主婦になってしまうと、それまでに費やしたコストを捨ててしまうことになる。
21. マレー・コミュニティの間では、女性がリーダーになることも可能だと思うので「分からない」を選んだ。その他の場所に関しては、もはや変えることができないと考えている。男性の方が様々な障害や問題に耐えることができるし、女性よりも感情的でない (リーダーになるのに) 適している。
23. 教師は男女とも適していると思う。弁護士は義務を果たすことができ、話すのがうまいので男性に適している。女性は真面目なので秘書、また優しいので看護師に適していると思う。

24. 母親がどちらかと言うと弟の方をかわいがる傾向にある。一方、父親は私の方をよりかわいがってくれる。でもどちらかと言えば、両方とも私の方の面倒をみってくれるかもしれない。多分私の方が弟よりもよく勉強するからかな。

25. 時々学校で民族的な確執がある。先日はマレー人と華人の男子生徒の間でけんかがあった。こういうことは時々ある。

26. マレー人の間では通常男子の方を重んじる傾向にある。

27. マレーシア社会で起こる事は多すぎて答えることができない。

(学校まで 20 分ぐらいの場所に住んでいる。彼女に関してではなく一般的な質問として、この学校の生徒があまりイーメールを使っていない点を尋ねると、コンピューター室があるが機能していないことを挙げた。また男子が卒業後勉強を続けたいのは、面倒くさがることと試験の結果の両方でどちらか一方ではないと思うと述べた。)

【MN No. 54 5P1 P 家庭訪問 9月5日】

Taman Bina Jaya という新興住宅地に住んでいる。他の多くのマレー生徒と同じように教師になりたいと思っているので、家庭訪問をすることにした。(未) 写真あり。

⑦ 文系華人女子 MN No. 69 5P1 P 12:10-12:25

父 鉄工場労働者(kilang besi) 初等教育 母 主婦 非教育

1. 家が近いので何かに乗る必要がないから、マリム・ナワールに行くことにした。歩いて 15 分。

2. 卒業後は進学しようと思っている。両親が自分のためにも高等教育に行った方がいいと薦める。

5. まだはっきりと決めていないが、私立カレッジに行きたい。

6. 会計学を学びたいと思っているので、今コンピューターセンターでインド人の先生にコンピューターを習っている。

8. 会計士になりたいがまだ不明。

9. 興味があるから。

11. 父や母、友人やおじ・おばと進路について話す。カレッジに行くのは両親も賛成してくれている。友だちも KL のカレッジに行くと思う。

13-14. 男性は高等教育に行った方がいいと思うが、それはオープンマインドになることができるから。

15-16. 設問の意味が分かりにくかった。

17-18. 性役割観には「反対」。女性も男性と同様に働くことはできる。もし夫が仕事をやめるように言っても続けたい。

19-22. 家とマレーシア社会では男性がリーダーになるのに適している。でも学校とコミュニティは分からない。学校は校長先生が女性だし、生徒も男女一緒だし。コミュニティでは商売をする時、何でも男女は一緒だから。

(とても前向きでまじめに勉強する様子が伝わってくる。マレー語でのインタビューにも言葉を選びながら丁寧に説明してくれた。まだ進路について十分決めかねているところがあるようだが、将来は性別関わらず働きたい。そのことが自分にとってプラスになると、両親からの助言もあってそう考えている。)

【MN No. 69 5P1 P 家庭訪問】

マリム・ナワールの中心部にある郵便局の裏手に、家はある。学校から車で 7-8 分・徒歩 15 分ほどの場所である。他に家庭訪問をした人の中でも、比較的貧しさがうかがえる家のたたずまい。知り合いの住所を借りている。

母親は新聞を読むことができるが、書くことはできない。だから子どもの教育は何よりも大事だと思っている。母親が特に注意しなくても本人も弟もよく勉強する。父親は朝の 6:00-夜の 6:00 まで工場で働く。インタビューでマレー語を話すのが難しい。男女の別ないと思っている。成績も悪くない。私立カレッジ(kolej swasta)に行きたいと思っている。祖母が一人。壁には、

移民してきた当時の家族の写真（ハンサムと美人が多い）。
隠れ家のような雰囲気を持つ家。筆者のマレー語があまり通じなかったので、多くの質問はできなかった。

⑧ 文系マレー人男子 MN No. 73 5P2 時間非記入
父 自営業 後期中等教育 母 主婦 後期中等教育

(12) 母親は小さいときから働いていない。

1. 小学校の時、SMK Batah Padang Rendahに通っていたがこの学校に移ることにした。宗教学校であるのもこの学校に移る理由の一つ。

2. フォーム 5 の後に勉強を続けるのはお金がかかる。(一般的にマレー男子生徒は、女子生徒よりも勉強を続ける意欲が低いようだが、と尋ねると) 勉強するのが面倒くさい (malas belajar)、お金を稼ぐ方が好き (lebih suka cari duit)、成績がいい訳ではないことが理由だろう。

8. 将来はできればパイロットになりたいと思っている。パイロットになるのは難しすぎるので、もし(パイロットになるのが)無理なら、エンジン技師 (pakar mesin) になりたい。そのためには、職業訓練校 (pusat giat/kemahiran)に通う必要がある。

11. 進路について父親と話すことが多いが、父親は「努力をしなければ成功することができない」といつも言っている。

13 - 14. もし仕事をしていなければ、家庭の長 (ketua dalam rumah tangga) としての役割が務まらない。

15 - 16. 仕事をして夫を助けるのがいいと思う。あまり高い教育を受けると (自分との) バランスが悪くなるので望まない。

17. 女性が必ずしも専業主婦にならなければならないとは限らないが、男性は絶対家庭の外で仕事をする必要がある。

18. 女性が高い教育を受けることはできるが、就職をした後ももし夫が駄目と言ったら仕事をやめる必要がある。

19 - 22. 男性の方が、責任感があり将来のビジョンを持っているので、指導者として適している。

23. 男性はたくましく統制力に優れているので、建築やパイロットになるのに適している。女性はソフトなので、あまり大変な (berat) 仕事には適していない。

24. 両親ともにアドバイス (nasihat) をくれる。一人っ子なので、兄弟姉妹に対する差はない。

25. 学校では、インド系男子とその他の男子がけんかをすることがある。男子の方が学校をさぼったり (ponteng) いたずらをしたりする。

[印象：自分の意見を言葉にするのがとてもうまい。おそらく進学する能力を持っているのだろうが、本人に就職の意志が強い。パイロットになるのが難しくても技術者になるための明確なビジョンを持っている。男女の役割観に関してもはっきりと男性の役割を意識しており、将来的に男性が手に職を持ち家庭の長として家族を養うことを少なからず意識している。予想では父親からしっかりと家庭の長としての父親像を教えられているのだろう。]

【MN No. 73 5P2 家庭訪問 (主に母親談)】

自営業をする父親 (45 歳) を持つ。母親は専業主婦 (38 歳)。一人っ子 (17 歳) でかなり豊かな暮らしをしているようだ。全寮制の学校を 1 年でやめたのは、生活の何もかも自分一人で負わなければならないからだ。卒業後働きたいと言っていたのには調査者の誤解があったようだ。「SPM を受け証書もらったぐらいではせいぜい、パートタイム (kerja sementara) 程度の仕事 (10~15 リンギツの日当) しか得ることができない。「働きたい」と言ったのは、固定した仕事をする前の (kerja tetap) 経験として仕事をしたいという意味で言った。母親もこれには賛成している。固定した仕事に対する本人の希望 (パイロットやエンジニア) に関して「本人の興味」に従う。実際、家でも興味を持って機械をいじることが多いので、多分本人

の性格に合っているのだと思う。

一般的に男の子が勉強を続けることがないことに対する母親の意見は、「本を読むのが面倒くさい (malas baca buku-buku)」からだと思う。

17. 母親の性役割観について尋ねると、女性が外で働くことも家事に専念し夫の世話をすることもフィフティフィフティで大事だと思う。後者に関してはイスラームで教えられているから (あまり明確に理由を述べることはなかった)。

母親 (上級中等学校) が小さい頃は、2つもバスを乗り継いで30分以上もかかる「遠い (jauh)」学校に行っていた。

男性にとって固定した仕事 (kerja tetap/kerja betul) はとても大事。

⑨ 文系マレー人女子 MN No96. 5P2 時間非記入

父 運転手 (ゴミ) 前期中等教育 母 主婦 初等教育

1. 父の収入による制限から、この学校を選んだ。

5. 教員養成カレッジに行きたい。文学か教育学 (マレー語か理科) に行きたい。両親は一生懸命勉強して奨学金をもらうように言う。フォーム6だと2年間学校に通わないといけないのがネック。

8. 教師になりたい。興味があったし、好きだから。

11. 親はちゃんと勉強するように言う。友だちとも進路について話す。

13-14. 試験の結果によっては仕事をしないといけなくなるだろうが、進学した方がいい。責任が高いから。

15-16. 女性が高等教育を受けるのも男性と同じで「とても賛成」。よい生活ができるしその意味で成功できる。

17-18. 性役割観には賛成、でも高等教育を受けた場合に主婦になるのは「賛成しない」。学ぶことは男女同じだけれど、もし経済的に十分であれば、女性は家にいてもいい。後者の言葉は、昔の人が言う言葉。

19-22. コミュニティ以外では男性がリーダーシップを取るのがいいとされる。家族や国についても、宗教でそう教わるから。私たち (kita) の民主主義的考え方で、優秀な方がリーダーシップをとることができると考えられる。

23. 男性は、医者や弁護士に向いていると考えたのは、既に統計で多いから。講師に向いていると考えたのは、地位が高いから。女性は教師・秘書・看護師など。これも既にたくさんの女性が働いているから。後は長である男性をサポートする仕事として、秘書が女性にふさわしい。

24-27. あまり分からない。家族では2人の女子と5人の男子がいて自分は2番目だけど差別を感じることはほとんどない。

(教師のイメージやどうして教師になりたいかなどを知りたいと思った。マレー人女子の典型的な仕事と考えられているから。23の答えでも分かるように、既に女性が多い仕事なんだから、女性にふさわしいのだろうと考えているようである。どちらかと言えば性役割肯定。)

⑩ 文系マレー人女子 MN No. 85. 5P2 時間非記入

父 自営業 (ladang) 前期中等教育 母 主婦 (工場で働いたこともある) 初等教育

1. 兄や姉が行っていたのが理由。8人兄弟で3番目。

5. 教員養成カレッジに行きたい。興味がある。

8. その後は学校の先生や講師や看護師になりたい (全て「女性職」)

11. 友だちと「一生懸命勉強して教員養成カレッジ」に行きたいと話す。両親は支援 (sokongan) してくれる。

13-14. 男性が、卒業後高等教育を受けるのは「とても賛成」。家族を養う責任があるから絶対に必要。試験の結果によっては働かなくてはいけないのは仕方ないけれど。

15-16. 女性の場合は、「賛成」。男性の方が女性よりもより高い教育を受ける方がいいに決ま

っている。

17-18. 性役割観を守るのは義務 (wajib)。でも高等教育後に働くことはできる。

19-22. コミュニティ以外では男性がリーダーになるのに適している。考えが男性の方がすぐれているから。コミュニティでは男女両方ともできると思う。

23. 現実が多いかどうかで選んだ。

24-27. 特になし。

⑩ No. 85. Nor Asyikin Bt Zulkepaly 5P2 時間非記入

インフォーマントとして取り上げていなかったが、ぜひインタビューを受けたいと請われてすることに。教師になるために、性役割観を肯定している典型タイプ。男性の責任 tangunjawab と女性の義務 wajib という言葉の対比が心に残った。

註

- ¹ ペイ・ユエンでの面接調査にあまり時間を割くことができなかつたため、後日第3次調査として、1学年下のフォーム・ファイブの生徒にインタビューした。
- ² フォーム・ファイブの会計クラス (Akaun) の生徒に対しても面接調査を試みようとしたが、マレーシア教育証書試験後に仕事をしている人が多いため面接することができなかつた。そのため、理系クラスの中から、会計学を専攻希望の生徒を代替の調査対象とした。
- ³ ペイ・ユエンへのインタビュー後の印象は、以下の通りである。家でのリーダーシップは、自分が将来築くであろう家族に関して論じる対象者もあれば、現在の家族の状況を答える対象者もいた。概して、家以外の、学校やエスニック集団、マレーシア社会の指導者に関しては、現実離れしているのか、興味を示していないようである。差別については、身近なところで、両親や祖父母から差別的な発言をされることがあった場合に、その発言を肯定したり、否定 (反抗) したりしながら、進路を選択しているかどうかについてさらに尋ねる必要がある。概して、初めてのインタビューであり、時間を十分に取ることができなかつたので、深く掘り下げることはできているとは言い難かつた。
- ⁴ 予定では2人ぐらいの対象者にゆっくり話を聞くつもりで4:30に約束をしたが、仲介してくれた対象者の配慮により5人にインタビューすることができた。人数が増えたおかげで、それぞれにかかる時間が短くなってしまったが、インタビューすることができた華人女子は、ほぼ全員性役割観には強く反対していた。男性は外で仕事、女性は家事という性役割観は文字通り、「伝統的性役割観」に過ぎず、今は時代が違って、家事も職業も、その前の教育も性別には関係なく平等に受けることができると彼女たちは考えている。しかし、実際には家族の中で、兄や弟に対する教育費のかけ方が異なっていることに不満を覚えている対象者もあり、そのことを家族における差別だけでなく、華人コミュニティの差別としてとらえている傾向がある。また、華人コミュニティで差別があると回答した背景や例についての質問に、家族における差別 (自分や知り合いの話として) を例に挙げるが多かつた。
- ⁵ フォーム・ファイブの時間割は次の通りである。～8:30 朝食 8:30～10:30 勉強 10:30～11:00 食事 11:00～12:00 勉強 12:00～14:00 昼食 14:00～17:00 勉強 17:00～19:00 夕方のティータイム (minum petang) 18:00～21:00 夕食 21:00～お祈り 23:00 夜のティータイム (minum malam)
- ⁶ タッヤのインタビュー直後の感想として、いろいろな進路選択の道があるが、性別役割観に関しては、みんな異口同音に平等だが役割があると述べる。日本では役割分担を克服しようと試みているが、彼女たちが西洋的なフェミニズムを志すことはないかもしれない。マレーシアが既に平等をある程度達成しているからだろうか、あるいは別の考え方があからだろうか。さらに、インタビューに応じてくれたタッヤの生徒たちが共通

して、ilmu, ketua keluarga, agama, emosional, lembut, tangjawab などの言葉を頻繁に用いた。そうした言葉の意味を、生徒たちが内面化しているかどうかについては個人差があるが、学校や家庭において性役割観が十分に教えられたことの表れであろう。また、高等教育の意味に関して、男子が高等教育を受けることには、子どもの教育のためや家族の長としての役割を果たすために必要であると考えている生徒が多い。それに対して、女性が高等教育を受けることも概して賛成だが、男性より高い学歴を持つことをよしとしていない。それは、男子の場合、高等教育に「とても賛成」を選ぶけれども、女性の場合は「賛成」を選ぶケースがほとんどであることから分かる。加えて、女性にとって高等教育が大事だとするのは、子どもを教育するため、主婦として知識がある方がいいなど性役割観を肯定しているが故である。タッサの女子生徒が異口同音に唱えた言葉が、教師（や親）からよく聞いた言葉なのかどうかを知る必要がある。他の2校に比べて進路指導カウンセラーの先生に頻繁に相談する生徒が多い。また、イドリスの男子生徒との差別を感じる生徒が多い。理系か文系かという選択では、比較的男女関係なく、成績による選択であることが多いが、職業になると、子どもを育てることができる範囲で選びたいと考えている。それには理系か文系かという差はなさそうだ。

⁷ マリム・ナワールへはカンパールの中心からバスが出ている（2002年当時）。2003年に入ってTARカレッジが拡張したのに伴い、ホームステイ先からも直接マリム・ナワールに行くことができるようになった。15分に1本ぐらい平日の朝はバスが出ており、小規模の町である。マリム・ナワールの中心には郵便局と10数件の小規模の店が立ち並ぶ。校区が異なっているため、カンパールから通ってきている生徒はいないが、逆に、マリム・ナワールに住む生徒はタッサやペイ・ユエンに通うことを選択できる。

⁸ インタビューしている相談室を一度訪れたものの、約束の時間に現れなかった。何となく予想ができる展開であった。5P1の生徒は今日の科目（美術）に登録していない人が多いようだ。